




1歳児クラス 9月 第1回 「くらいくらい」

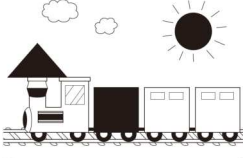
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 「暗い」「明るい」⇒「ついた」「あかるい」「みえた」を体感する。 推理する力をつける。⇒影から何になるのか考える。(鳴き声などのヒントを出す。) コトバをおぼえる。⇒絵本の文章の他に、擬態語や擬音を多く用いる。(特徴を捉え表現する。) 最後は暗い保育室の中講師は子どもたち数人に触れながら「この頭は〇〇ちゃん?このお耳は〇〇ちゃん?」などと会話。「お部屋も明るくしようか…」と誘い掛けみんなで「でんきをつけてちょうだい」で終了する。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート (ビーちゃん) 		
導入	<ul style="list-style-type: none"> 保:パ-プサート(影側見せる)を覆うように布(ハンカチ・タオルなど)を掛け「まっくらくらくら…」と登場。 講:パ-プサートを受け取り「これ被っているからだよ」と布を取り、真っ黒な影が誰なのかを子どもたちに問いかけてから表を見せる。「影」に興味を持たせてから、「でんきを消してください」と言って消灯。「くらい くらい…」でお話に入る。 絵本の投影前にシアターのライトを使って手など影を映してお話の内容に興味を持たせてからはじめても良い。 	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> パ-プサートの提示。 子どもたちと一緒に話を楽しむ

がくしゅうタイム

活動①	知識	影の形の特徴から何の動物か答える	
設問	このかげはだれでしょう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「いろんな影があつて楽しかったね!」 保:パ-プサート(みーちゃん)の影を見せながら「まっくらくらくら くらーいくらい わたしはだーれだ?」と登場。 	教材	<ul style="list-style-type: none"> P1 P1用提示カード 3種 パ-プサート(みーちゃん)
	<ul style="list-style-type: none"> 講:「あれあれ絵本のつづきね…このかたちは誰だった?」と耳や魚型の靴など特徴的なかたちの部分に注目させて子どもたちと一緒に考え答えを出す。 講:「今日はみーちゃんの友だちも来てるんだって」とプリントを見せて「みんなで影のあてっこしてくださいだって」 保:プリント配布。 講:「最初は誰が来るのかな?」子どもたちと一緒に「どーぞー」と呼び込む。 保:「まっくらくらくら くらーいくらい わたしはだーれだ?」と提示カード(うさぎ)の影を見せ講師に渡す。 講:「この中(プリント)にいるかな?だれ?」と質問。クイズ形式にし絵本同様影の形から推理させて楽しく進行する。 子:「これ」と指さす。 講:「正解は…(提示カードをひっくり返し)うさぎさんでした!」と確認する。 一問ずつ講師・保育士は「ピンポン」のことばと共に花丸やスタンプで賞賛。問題を繰り返す。 3問解答したら終了。プリント回収。 	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> パ-プサートの影提示 プリント配布 提示カードを見せる 子どもたちと一緒に考えて考える 理解できない子のフォロー 賞賛 プリント回収

活動②		ねらい	形	同じ形を見つけてプリントにはめ込むことができる	
設問			影と同じ形（パズル）を置きましょう。		教材
つなぎ			<ul style="list-style-type: none"> 講：「あれ？また何か来たよ」 保：「がたんがたん」と登場。提示用プリント提示。 		P2
活動内容			<ul style="list-style-type: none"> 講：「汽車が来たよ！えき！えき！止まってください」とプリントを受け取り汽車を見ながら「あれ？ここにも『くらーいくらい』があるね」と黒い形の部分に注目できるようにする。 保：「こんなのがありましたよ」とそれぞれの形のカードを提示。 講：○・□・△の形の名称を確認。それぞれの形の特徴（つるつる・ちくちく・かくかく等）にも注目できるようにする。 講：「カードで素敵に直してあげよう」講師子どもたちを巻き込みながら見本行動。パズルのキーワード「くるくるくるくるピッタンコ」と言いながら影の上に形を置き両面テープ（マグネット）で貼って絵を完成。 ※途中「違う違う」と間違え行動を入れることでより興味、意識が高まる。 講：「まだまだあるよ、みんなもやってみよう！」 保：子どもたちにプリント、カード配布。 子：形の特徴を捉えながら完成する。 完成した汽車を見せ合い♪音楽に合わせて机の上でも良いのでみんなで走らせ賞賛。「きしやは車庫に入ります。がたんがたん…」と回収して終了。 		○△□カード（両面テープ付一人各1枚） 提示用拡大プリント＆○△□カード ※提示用の形3種にはマグネットを付けておく扱いやすい。
					保育士の役割 ・提示プリント持って登場 ・形カード提示 ・プリント配布 ・形カード配布 ・エレビ演奏 ・賞賛 ・プリント回収

数子ヤレ		ねらい	比較	数の違う2つの皿を比べ多い方がわかる。	教材
設問			多いのどっち？		おはじき 皿
活動内容			<ul style="list-style-type: none"> 5個入った皿と2個入った皿を見比べて多い方を指さす。 二つの皿を比べることが大切。視線に注意し、一つの皿にのみ視線がいく子には一つずつしっかりと見せて比較する。 		保育士の役割
					二つの皿を比較する